

## 年度評価シート

課名 観光政策課

施設の名称 静岡市東海道広重美術館	指定管理者名 特定非営利活動法人へキサプロジェクト
1 履行状況	
(1) 目標達成	
ア 利用者満足度	
目標値80%、実績値88.4% (前年度86.4%)	
達成率110.5% (前年度比102.3%)	
【参考】令和元年度 (コロナ前) 実績値73.2%、達成率91.5%	
イ 利用者数	
目標値 21,500 人、実績値 26,319 人 (前年度 16,766 人)	
達成率 122.4% (前年度比 157.0%)	
【参考】令和元年度 (コロナ前) 実績値 19,955 人、達成率 72.9%	
(2) 人員配置状況	
正規5人 パート2人	
(3) 業務実施状況	
各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 主な事業と参加者数は以下のとおり。	
ア 展覧会事業	
(ア) 道 ～人やモノをつなぐ～	
(会期：4/1～6/4 (Part 1～2)、入館者数：5,903人)	
(イ) 広重か北斎か ～二人が描いた富士の景～	
(会期：6/6～8/13 (Part 1～2)、入館者数：5,927人)	
(ウ) 広重とめぐる名物・東海道	
(会期：8/15～11/12 (Part 1～3)、入館者数：5,908人)	
(エ) 江戸LIFE	
(会期：11/14～1/21 (Part 1～2)、入館者数：3,350人)	
(オ) 浮世絵花ごよみ ～浮世絵で楽しむ江戸の花～	
(会期：1/24～3/31 (Part 1～2)、入館者数：4,057人)	
イ 関連事業及び教育普及事業	
(ア) ギャラリートーク：11回、123人	
(イ) 団体向け展示解説：889人	
(ウ) 講演会：1回 (広重か北斎か)、18人	
(エ) 出張講座：6件 (学校5件・一般1件)、469人	

ウ その他

(ア) 新静岡セノバ「セノバ楽市-秋-」とのタイアップ企画展

「浮世絵で旅する東海道」(2月から3月)

(イ) ゆいまるプロジェクト主催の「ゆいまるフェア」への協力(2月)

【検証・分析等】

展覧会事業では、浮世絵作品を所蔵する他施設からも作品を借用し、浮世絵が流行した江戸時代の交通、名所・名物、暮らしなどに焦点を当てた企画展を開催するなど学芸員の調査・研究の成果を最大限活用し、多様な切り口で浮世絵の文化と美術館の魅力の発信に取り組んだ。その結果、入館者数の目標値を大幅に超えて達成した点は非常に評価できる。

また、新静岡セノバとのタイアップ企画をはじめ、他団体との連携企画を実施している。特に地域の施設・団体が協力して由比地域の活性化に取り組む「ゆいまるプロジェクト」にプロジェクト設立当初より参加しており、令和5年度はプロジェクト主催のゆいまるフェア(2月)のイベントに協力した。地域住民や観光客に親しまれる歴史街道まち歩きの出発点として、各種事業に取り組む姿勢は大いに評価できる。

【確認結果】

○：業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。

2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応 等)

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

(1) 意見：コインロッカーを涼しい所に設置してほしい。

対応：コインロッカーのある風除室は夏季期間、高温になりお土産等が傷んでしまうため、申し出があった場合は事務所で預かる対応をした。

(2) 意見：年間パスポートを作してほしい。

対応：リピーターの方からのオーダーであったが、リピーター特典を実施し、何回でも来ていただけるような企画を行った。

【検証・分析等】

利用者からの意見・要望に対しては、概ね適切に対応し、即時の対応が困難である要望に対しても前向きに対応・検討するなど、良好な対応がなされているといえる。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民(利用者)へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

満足度向上のため、来館者を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

回答者総数：1,700件、「とてもよかった」「よかった」と回答した人数：1,502人

① 展覧会の満足度93.0%(前年度90.9%)

② その他常設展示の満足度83.9%(前年度82.0%)

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

施設の認知度を調査するため、静岡市が設置している観光施設4施設（由比本陣施設、清水港船宿記念館、坐漁荘記念館、三保真崎グラウンドゴルフ場）に来館、入場した人を対象にアンケート調査を実施した。

**【調査結果】**

回答者総数：1,422件、当該施設を知っていると回答した人数：641人

認知度：45.1%（前年度45.3%）

施設の認知度は45.1%と昨年度に及ばなかった。所管課も協力して公共施設等へのチラシ配架など広報に取り組んでいるが、指定管理者には、引き続き認知度向上及び集客に向けた取組の工夫を期待したい。

**【確認結果】**

△：調査の結果にやや問題があった。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおりに執行されている。

**【検証・分析等】**

指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおりに執行されており良好である。

**【確認結果】**

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

本施設は、同一敷地内の由比本陣施設とともに、「江戸時代を感じさせる、まち歩き拠点」として、市の第4次総合計画の主要施策である「駿州の旅日本遺産推進事業」や「東海道歴史街道まち歩き推進事業」において重要な役割を担う施設である。

企画展の内容は、本市の事業の趣旨を踏まえた内容となっているだけでなく、他の施設・団体との連携を展覧会事業及び施設運営に活かし、様々な切り口で幅広い層への浮世絵文化の魅力を発信し、目標の入館者数を達成したことは非常に評価できる。

また、利用者の希望に合わせた展示解説を行うことにより利用者の満足度向上に努めるとともに、市内だけでなく富士市、富士宮市といった市外の小中学校にも広報活動を行うなど、本施設のファンづくり、幅広い世代への浮世絵文化の魅力に触れる機会の提供を実施し、広く普及活動を行っている点も評価できる。

今後はさらにインバウンド客の獲得にも力を入れて、さらなる入館者の増加に期待したい。

**【評価結果】**

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。